



平成 21 年 3 月 19 日

各 位

会 社 名 日本精工株式会社
代表者名 代表執行役社長 朝香 聖一
(コード番号 6471 東証・大証第一部)
問合せ先 執行役常務財務本部長 斉藤 佳男
(TEL 03-3779-7060)

通期連結業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 12 月 24 日に公表した平成 21 年 3 月期(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)の通期連結業績予想及び期末配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正

(1) 平成 21 年 3 月期 連結業績予想数値の修正(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)
(金額の単位:百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	670,000	28,000	25,000	12,000	22.20
今回修正予想(B)	645,000	19,500	13,500	4,000	7.40
増減額(B-A)	25,000	8,500	11,500	16,000	
増減率(%)	3.7	30.4	46.0		
(ご参考)前期実績 (平成 20 年 3 月期)	772,036	69,343	64,854	42,613	78.84

(2) 修正の理由

当社を取り巻く事業環境は、金融危機やそれに伴う信用不安、世界各国に広がった実体経済の急速な後退により、一段と厳しさを増しております。

年明け以降、自動車メーカーの生産調整の動きが強まり、自動車関連製品の売上が急速に落ち込んでいるほか、産業機械分野においても、風力発電、鉄道車両向け等のインフラ関連需要は堅調ですが、その他の産業向けの受注は総じて落ち込みが続いております。

これらの物量減の影響に加え、欧米子会社における事業構造改善費用の特別損失への追加計上 20 億円、繰延税金資産の一部取崩しによる法人税等調整額(損失)の増加 43 億円により、通期の連結業績予想を下方修正いたします。

2. 期末配当予想の修正

(1) 修正の内容

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (平成20年12月24日発表)	10円00銭	(未定)	(未定)
今回修正予想	-	4円00銭	14円00銭
当期実績	10円00銭		
前期(平成20年3月期)実績	9円00銭	10円00銭	19円00銭

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営方針の一つとしております。配当につきましては安定的な配当を継続実施していくことを基本としつつ、連結ベースでの配当性向や業績水準等を勘案して決定したいと考えております。

しかしながら、当期の期末配当金につきましては、期後半からの急速な業績の悪化や、経営環境の先行きが不透明であることにより、1株当たり4円を予定させていただきます。

3. 役員報酬及び管理職給与の減額について

当社グループでは事業環境の急激な悪化を受け、

物量減に見合うヒト・モノ・カネのスリム化(国内外における人員削減、販管費等の経費削減、棚卸資産や設備投資の削減)

拡販活動の積み増しと加速

を柱とする緊急収益改善対策を実行しております。

その一環として、当社取締役及び執行役の報酬、並びに部課長職の給与を次のとおり、減額しております。

取締役及び執行役報酬	20～35%	平成21年1月度より
部課長職給与	5～7%	平成21年2月度より

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上